



2026年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年8月7日

上場会社名 株式会社 秀英予備校

上場取引所 東

コード番号 4678 URL <https://www.shuei-yobiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺 武

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 渡辺 喜代子

TEL 054-252-1792

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,034	1.2	470	—	469	—	481	—
2025年3月期第1四半期	2,058	2.6	436	—	432	—	446	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 481百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 449百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	71.80	—
2025年3月期第1四半期	66.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	8,893	3,988	44.8	594.39
2025年3月期	9,427	4,536	48.1	676.17

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 3,988百万円 2025年3月期 4,536百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,875	0.0	335	—	330	—	355	—	52.90
通期	10,880	1.7	440	13.8	445	11.8	355	19.1	52.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	6,710,000 株	2025年3月期	6,710,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2026年3月期1Q	319 株	2025年3月期	319 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	6,709,681 株	2025年3月期1Q	6,709,681 株
------------	-------------	------------	-------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
（1）当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等の注記）	8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急激な為替変動や米国の関税政策の影響などにより先行き不透明な状況が続いております。また、賃上げによる所得環境の改善が見られるものの、慢性的な物価上昇により国内消費は低迷するところとなっております。

当業界におきましては、少子化の進行、過当競争の継続、寡占化、企業の統廃合など厳しい経営環境となっております。

このような情勢のもと当社グループにおきましては、

- ① 新差別化戦略を現場で徹底すること
- ② 「新iD予備校」を校舎運営の標準モデルとすること
- ③ 低学年からの“囲い込み”により安定的経営基盤を構築すること
- ④ 高校部の新しい差別化戦略を確立すること
- ⑤ F C部門においては、地域を限定したオーナー募集を行い、効率的なS V活動を行うこと

を経営の柱としております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、小中学部は、年間の業績を大きく左右する夏期一般生募集を最重点課題として取り組んでまいりました。今期は、募集に先立って行ったイベントをテコとして募集活動は順調に推移しております。しかしながら、年間を通して実施している小4から中3生対象の模擬テストを、今期から6月1回分を減らしたことを要因として、小中学部全体の売上高は前年同四半期と比較して減少しております。また、高校部におきましては、本科生の夏期講習単価が大きく上昇し順調に推移しております。なお、小中学部からの持ち上がりが順調であったため、高1生を中心として当第1四半期末時点の総生徒数は前年同四半期末と比較して増加しており、高校部全体の売上高は前年同四半期と比較して増加しております。

営業費用におきましては、前期末での校舎閉鎖に伴う賃借料の減少があったものの、6月に開催した「小学生・中学生公開実力テスト」の受験者数の増加による問題作成費用、成績処理手数料の増加及びT V C M等の広告宣伝費の増加、並びに人材確保のために中途採用等を強化したことによる採用費の増加があったことにより、全体として増加するところとなりました。

営業外損益におきましては、大きな変動はありません。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は2,034百万円（前年同四半期は2,058百万円）、営業損失は470百万円（前年同四半期は営業損失436百万円）、経常損失は469百万円（前年同四半期は経常損失432百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は481百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失446百万円）となりました。

なお、季節的変動要因として、当社グループの生徒数は、小中学部・高校部ともに夏期講習・冬期講習等の講習に参加した一般生がそれぞれ9月、1月に入学するため、第2四半期以降に増加するところとなっております。一方、営業費用につきましては、人件費・賃借料等が毎月固定的に発生いたします。したがって、第1四半期の収益性は第2四半期以降に比べて低くなっております。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

(小中学部)

小中学部におきましては、イベントを通した小学生の生徒数増加により予算を上回る生徒数で推移しております。売上高につきましては、前年に引き続き授業料体系の見直しに伴う授業料単価の上昇により授業料の売上は増加しております。また、年間を通した生徒の学習効率を引き上げることを目的として、従来6月に実施していた模擬テストを取りやめたことにより、模試売上は前年同四半期と比較して減少しておりますが、予算通りであります。営業費用につきましては、前期末での校舎閉鎖に伴う賃借料の減少があったものの、「小学生・中学生公開実力テスト」の受験者数の増加による問題作成費用、成績処理手数料の増加及びT V C M等の広告宣伝費の増加があったことにより、全体として増加いたしました。結果として、小中学部の売上高は1,734百万円（前年同四半期は1,765百万円）、セグメント損失は273百万円（前年同四半期はセグメント損失234百万円）となりました。

（高校部）

高校部におきましては、ほぼ予算通りの生徒数で推移しており、予算を少し上回る売上高となっております。営業費用につきましては、経費削減により予算を少し下回るとなっております。結果として、高校部の売上高は290百万円（前年同四半期は283百万円）、セグメント損失は7百万円（前年同四半期はセグメント損失15百万円）となりました。

（その他の教育事業）

その他の教育事業におきましては、ほぼ予算通りの売上高となっております。営業費用につきましては、オンラインによるSV活動を行う等により削減を図っております。結果として、その他の教育事業の売上高は8百万円（前年同四半期は9百万円）、セグメント利益は4百万円（前年同四半期はセグメント利益6百万円）となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて525百万円減少し、1,334百万円となりました。これは主として、季節的変動要因において第1四半期の収益性が低くなることにより「現金及び預金」が減少したためであります。また、3月新年度入学生の初回授業料及び春期講習受講料の回収により、「受取手形、売掛金及び契約資産」も減少しております。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7百万円減少し、7,554百万円となりました。これは主として、校舎におけるエアコン更新による建物附属設備の取得に伴う「建物及び構築物」の増加があったものの、建設協力金の回収による「敷金及び保証金」の減少があったためであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて533百万円減少し、8,893百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて88百万円増加し、1,874百万円となりました。これは主として、高3生の年間授業料の入金により「契約負債」が増加したこと、7月支給の夏季賞与確定による未払費用の発生に伴い「その他」が増加したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて73百万円減少し、3,030百万円となりました。これは主として、長期借入金の約定返済が進んだためであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて14百万円増加し、4,905百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて548百万円減少し、3,988百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の48.1%から44.8%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては2025年5月8日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,300,356	866,146
受取手形、売掛金及び契約資産	155,711	60,877
商品	53,907	42,132
貯蔵品	14,371	13,191
その他	339,138	354,128
貸倒引当金	△3,124	△1,632
流動資産合計	1,860,361	1,334,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,430,340	2,457,055
土地	3,223,597	3,223,597
その他（純額）	82,774	84,779
有形固定資産合計	5,736,712	5,765,432
無形固定資産	18,189	17,876
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,497,317	1,464,982
退職給付に係る資産	244,123	245,799
その他	70,350	64,354
貸倒引当金	△4,178	△3,781
投資その他の資産合計	1,807,614	1,771,353
固定資産合計	7,562,516	7,554,662
繰延資産		
社債発行費	4,386	4,010
繰延資産合計	4,386	4,010
資産合計	9,427,264	8,893,517
負債の部		
流動負債		
短期借入金	216,000	120,000
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	182,664	165,590
未払金	590,111	589,064
未払法人税等	97,970	29,315
契約負債	18,975	137,744
賞与引当金	161,514	48,860
校舎移転・閉鎖損失引当金	97,061	81,207
その他	382,255	662,884
流動負債合計	1,786,553	1,874,667

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
固定負債		
社債	80,000	80,000
長期借入金	662,750	625,649
繰延税金負債	77,178	76,622
退職給付に係る負債	973,015	948,468
資産除去債務	602,560	604,011
その他	708,307	695,929
固定負債合計	3,103,811	3,030,680
負債合計	4,890,365	4,905,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,089,400	2,089,400
資本剰余金	1,835,655	1,835,655
利益剰余金	609,288	60,381
自己株式	△154	△154
株主資本合計	4,534,189	3,985,282
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	2,709	2,887
その他の包括利益累計額合計	2,709	2,887
純資産合計	4,536,898	3,988,169
負債純資産合計	9,427,264	8,893,517

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2,058,764	2,034,229
売上原価	2,108,644	2,110,275
売上総損失（△）	△49,879	△76,046
販売費及び一般管理費	386,310	394,684
営業損失（△）	△436,189	△470,731
営業外収益		
受取利息	1,452	1,058
受取賃貸料	6,248	5,322
その他	2,552	2,676
営業外収益合計	10,253	9,056
営業外費用		
支払利息	2,704	3,927
その他	3,633	4,076
営業外費用合計	6,338	8,003
経常損失（△）	△432,274	△469,678
特別損失		
校舎移転・閉鎖損失引当金繰入額	-	623
特別損失合計	-	623
税金等調整前四半期純損失（△）	△432,274	△470,301
法人税、住民税及び事業税	13,493	12,139
法人税等調整額	692	△631
法人税等合計	14,185	11,508
四半期純損失（△）	△446,460	△481,810
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△446,460	△481,810

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失（△）	△446,460	△481,810
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△2,667	177
その他の包括利益合計	△2,667	177
四半期包括利益	△449,127	△481,632
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△449,127	△481,632
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			
	小中学部	高校部	その他の教育事業	計
売上高				
集団（黒板を使った集団授業）	968,853	259,055	—	1,227,908
i D（映像を使った個別授業）	183,024	—	—	183,024
個別（講師による個別指導）	608,529	—	—	608,529
その他	4,761	24,711	9,829	39,302
顧客との契約から生じる収益	1,765,168	283,766	9,829	2,058,764
外部顧客への売上高	1,765,168	283,766	9,829	2,058,764
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	3,657	3,657
計	1,765,168	283,766	13,486	2,062,421
セグメント利益又は損失（△）	△234,635	△15,416	6,317	△243,734

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△243,734
セグメント間取引消去	9,665
全社費用（注）	△202,120
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△436,189

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	小中学部	高校部	その他の教育事業	計
売上高				
集団(黒板を使った集団授業)	951,171	285,275	—	1,236,446
i D (映像を使った個別授業)	163,902	—	—	163,902
個別(講師による個別指導)	615,458	—	—	615,458
その他	4,096	5,414	8,911	18,421
顧客との契約から生じる収益	1,734,628	290,689	8,911	2,034,229
外部顧客への売上高	1,734,628	290,689	8,911	2,034,229
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	3,117	3,117
計	1,734,628	290,689	12,028	2,037,346
セグメント利益又は損失(△)	△273,797	△7,311	4,283	△276,825

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△276,825
セグメント間取引消去	10,056
全社費用(注)	△203,962
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△470,731

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	42,491千円	51,715千円